

1人1台端末環境を生かした 令和の時代の『ICT活用』

～ Society5.0を生き抜くみやぎの子供たちのために～



Society5.0時代※に生きる子供たちにとって、ICT環境は鉛筆やノート等の文房具と同様に不可欠なものとなります。1人1台端末環境は、令和の時代における学校の「スタンダード」です。各学校では、これまでどおりの教育とICTの組み合わせによる授業が展開されます。

文部科学省「GIGAスクール構想」の推進により、多様な子供たち一人一人の学習状況や興味・関心に応じて学ぶことができる教育環境が実現します。

※「Society5.0時代」とは…人工知能(AI)やビッグデータ、IoT等の技術の急速な進展に伴い、これらの先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが現在とは「非連続的」と言えるほど劇的に変わる時代。



1人1台端末環境で、

このような授業を目指します



一斉学習



子供たち一人一人の**反応**を捉えた
双方向型の授業

個別学習



子供たち一人一人の**学習状況**や**理解度**
に応じた授業

協働学習



子供たち一人一人の**考え**を**即座**に共有し、**多様な意見**を交流し合う授業

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業づくり



宮城県教育委員会

宮城県教育委員会では、

県全体で『コミュニケーションツール』の導入を推進しています

県全体で推進する教育向けコミュニケーションツール*1は、無償のクラウド*2を利用するため、**〈すぐにでも〉〈どの教科でも〉〈誰でも〉**活用することができます。また、小学校、中学校、高等学校で同じアカウント*3を利用するため、12年間の学びの跡が引き継がれます。さらに、1人1台端末環境を効果的に活用することで、学びの本質に迫る学習活動を展開することができます。



*1 県教育委員会では、Google社の提供する、無償で活用できる「G Suite for Education」を導入します。

*2 「クラウド」とは…インターネット上に存在するサーバーを利用してデータを処理する形態

*3 「アカウント」とは…利用者がネットワークやWebサイト等にログインするための権利のこと



“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT

活用イメージ

- ◆ 一人一人がWeb上で情報を検索し、主体的に情報を収集・整理する。
- ◆ 一人一人が考えをまとめて発表する。
- ◆ 共同編集で、リアルタイムに仲間と考えを共有しながら学び合う。
- ◆ デジタル教材を活用し、一人一人の興味・関心や理解度に応じた確かな学びにつなげる。
- ◆ 担任から配信された課題に取り組み、Web上で回答する。など



“1人1台”を活用して、教科の学びを深める。 教科の学びの本質に迫る。

活用イメージ

- ◆ 文書作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言し合う。
- ◆ 画面上に表示したグラフを動かしながら関数の特徴を考察する。プログラミングを通して、図形の作図を行う。
- ◆ 観察・実験の動画等を視聴しながら現象を科学的に分析し、考察を深める。
- ◆ 他校の子供とつながり、交流したり議論したりする。など



家庭でのオンライン学習環境の整備

緊急時等に家庭でのオンライン学習を行うことを想定し、Wi-Fi環境が整っていない家庭に対してモバイルルーター等を貸与している市町村があります。詳しくは、各学校または市町村教育委員会にお問い合わせください。

教職員の研修/学校の情報化

宮城県総合教育センターは、「ICTを活用した授業づくり」に関する研修資料をWebで公開しています(右記QRコードより参照)。また、各学校では情報化推進リーダーが中心となり、学校全体の情報化を進めています。

